※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『新探求古典Ｂ　古文編』（桐原書店）『新探求古典Ｂ　漢文編』（桐原書店）						
副教材等	『新明説古典文法』（尚文出版）、『常用国語便覧』（浜島書店） 『古文単語 315』（桐原書店）『日本文学史ノート』（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古文では１・２年次で学んだ知識を活かし、文法や単語の知識を増やしていくことで、難解な長文を読み解いていきます。ある程度の知識を前提として授業を進めていくので、１・２年次の学習内容に不安がある生徒はもう一度文法のおさらいをしておくことを勧めます。漢文では２年次で学んだ内容を引き継ぐ形で、有名な故事成語について学んでいきます。

２　学習の到達目標

古典の文章に触れる事により、伝統と文化に対する理解を深め、ものの見方、感じ方、考え方を広め、柔軟な思考を獲得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す･聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。			古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 (授業態度･発言) ・提出物の点検			・ノートの点検 ・定期考査	・小テスト･提出物の点検 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	物語・随筆	平家物語「宇治川の先陣」 蜻蛉日記「嘆きつつ一人寝る夜」				○	○	d:場面における人間関係を正確に知り、心理の動きをたどることができたか。 e:敬語、助動詞の意味を確認し、理解することができたか。	行動観察 ノート点検 定期考査
一学期期末	漢文・物語	史記「鴻門の会」「四面楚歌」 和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中を」	○				○	a:本編の内容から故事成語の成り立ち、意味に考えをめぐらすことができたか。 e:句形・助動詞・助詞の意味を確認し、理解することができたか。	行動観察 ノート点検 定期考査
二学期中間	物語	源氏物語「藤壺の里下がり」 「柏木と女三宮」				○	○	ｄ：人間関係を正しくとらえ、人物の心の動きを読み取れたか。 e:助動詞・助詞の意味を確認し、理解することができたか。	行動観察 ノート点検 定期考査
二学期期末	物語	源氏物語「紫上の死」	○				○	a:『源氏物語』のストーリー全体に関連付けて、本編の意図を考えることができたか。 e:敬語の理解ができたか。	行動観察 ノート点検 定期考査
	物語	源氏物語玉の小櫛「もののあはれ」				○		ｄ：筆者の主張を読み解くことができたか。	行動観察 ノート点検 定期考査
学年末	評論	源氏物語「匂宮と浮舟」					○	e:助動詞・助詞の意味を確認し理解することができたか。	行動観察 ノート点検 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。